

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|--------------|------------|------------|-----------------|-------------------------------|----------------------------------|--------|------|-----|-----|------|----|---|--|-------|---|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | |
| A1K09-123 | 2009/11/15 | 2012/03/27 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 山口県 | | | | | ○ | 当該製品で風呂を焚いたところ空焚きとなり、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。当該事業者は、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、無償点検・改修を実施している。 | | | 平成21年11月27日にガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）として公表していたもの。平成19年7月27日からリコールを実施（特記事項を参照）改修率30.5%。 |
| A1K09-165 | 2009/12/27 | 2010/02/02 | 石油ストーブ (開放式) | RCA-106 | (株)トヨミ | 福岡県 | | | | | ○ | 当該製品を点火し、部屋を離れ、しばらくして戻ったところ、当該製品から出火していた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-163 | 2009/12/31 | 2010/01/20 | 石油ストーブ (密閉式) | FF-68PR7 | (株)コロナ | 北海道 | | | | | ○ | 当該製品を点火し、その場を離れ戻ったところ、当該製品から出火しており、当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-161 | 2009/12/31 | 2010/01/18 | 石油ファンヒーター | FH-323DXD | (株)コロナ | 福島県 | | | | | ○ | 今シーズン初めて当該製品のスイッチを入れ部屋を離れた。しばらくすると発煙していたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-157 | 2009/12/23 | 2010/01/12 | 石油ふろがま | 不明 | (株)長府製作所 | 千葉県 | | | | | ○ | 異臭がしたので確認すると、当該製品付近から出火し、当該製品が焼損し、周辺が汚損した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-154 | 2009/12/24 | 2010/01/08 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-405AYS | (株)ノーリツ | 富山県 | | | | | ○ | 当該製品で風呂を焚いていたところ、異常を感じたので確認すると、当該製品の排気口から発煙・発火しており、当該製品内部を焼損し、周辺を汚損した。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に灯油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-153 | 2009/12/21 | 2010/09/02 | 石油ストーブ (開放式) | GKP-S241N ((株)グリーンウッドブランド) | (株)千石 ((株)グリーンウッドブランド(輸入事業者)) | 鳥取県 | | | 1 | | ○ | 火災が発生し、1名が軽傷を負った。現場にあった当該製品のカートリッジタンクの蓋(口金キャップ)はロックされておらず、開いた状態であり、灯油が漏れていた。当該製品は消火状態であったため、出火元も含め、現在、原因を調査中。当該製品のカートリッジタンクの蓋(口金キャップ)が本体に確実にロックされない状態で、蓋が閉まったと誤認し、漏れた灯油に引火したと考えられる。 | | | 平成22年1月6日にガス機器・石油機器に関する事故として公表していたもの 平成22年9月1日からカートリッジタンクの無償交換を実施 |
| A1K09-152 | 2009/12/16 | 2010/01/08 | 石油給湯機 | UIB-3300TXA | (株)コロナ | 静岡県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、異常を感じたので確認すると、屋外の排気口から炎が出ていた。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-150 | 2009/12/18 | 2010/01/08 | 石油給湯機 | UIB-3100TX | (株)コロナ | 北海道 | | | | | ○ | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から15年以上経過した製品 |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|--------------|------------|------------|------------------|------------|-----------|--------|------|-----|-----|------|----|---|-------|-------|--|
| | | | | | | | 死亡 | 重症病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | |
| A1K09-148 | 2009/12/14 | 2010/01/08 | 石油ファンヒーター | FH-iX345BY | (株)コロナ | 高知県 | | | | | ○ | 当該製品のタイマー点火をセットしたところ、セットした時間頃に当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-144 | 2009/12/09 | 2010/01/05 | 石油ファンヒーター | 不明 | ダイニチ工業(株) | 埼玉県 | 1 | | | | ○ | 火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-139 | 2009/12/12 | 2009/12/25 | 石油給湯機 | OQB-305Y | (株)ノーリツ | 千葉県 | | | | | ○ | 当該製品から発煙し、当該製品を焼損した。事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に灯油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-138 | 2009/12/05 | 2009/12/25 | 石油ファンヒーター | GT-2511 | (株)コロナ | 兵庫県 | | | | | ○ | 当該製品に点火したところ、しばらくして異常燃焼し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-135 | 2009/12/01 | 2009/12/16 | 石油ファンヒーター | FH-iX467BY | (株)コロナ | 奈良県 | | | 1 | | ○ | 家屋が全焼する火災が発生し、1名が軽傷を負った。当該製品の使用状況も含め、現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-132 | 2009/11/25 | 2009/12/11 | 石油温風暖房機 (密閉式) | OF-45E | シャープ(株) | 茨城県 | 1 | | | | ○ | 一酸化炭素中毒が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-131 | 2009/11/23 | 2009/12/11 | 石油ふろがま (薪兼用) | H2S | (株)長府製作所 | 滋賀県 | | | | | ○ | 入浴後排水し、しばらくすると火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。 | | | 製造から20年以上経過した製品 |
| A1K09-128 | 2009/11/14 | 2009/12/09 | 石油ふろがま | CK-8 | (株)長府製作所 | 栃木県 | | | | | ○ | 当該製品で風呂を焚いたところ空焚きとなり、当該製品が焼損し、周辺が煤けた。事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクターの戻し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | | | 製造から15年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施 |
| A1K09-127 | 2009/11/03 | 2009/12/09 | 石油ストーブ (開放式) | SX-1840 | (株)コロナ | 東京都 | 1 | | 1 | | ○ | 火災が発生し、1名が死亡、1名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-126 | 2009/11/21 | 2009/12/09 | 石油給湯機 | OQB-302Y | (株)ノーリツ | 岐阜県 | | | | | ○ | 屋外から異音が出たため確認すると当該製品から発煙しており、当該製品を焼損した。事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-125 | 2009/11/17 | 2009/12/09 | 石油ファンヒーター | FH-554DXR | (株)コロナ | 岩手県 | | | | | ○ | 当該製品を使用したところ、当該製品から発煙、発火し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意) 人的被害概要 重症病: 治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病: 治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|--------------|------------|------------|------------------|----------------------|--------------------------------|--------|------|-----|-----|------|----|--|-------|-------|--|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | |
| A1K09-122 | 2009/10/26 | 2009/12/09 | 石油ファンヒーター | GT-328Y | (株)コロナ | 宮城県 | 1 | | 2 | | ○ | 火災が発生し、1名が死亡、2名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-120 | 2009/11/15 | 2009/12/09 | 石油給湯機 | EX-403A (ツチャブランド) | 長州産業(株) (ツチャブランド) | 茨城県 | | | | | ○ | 火災が発生し、現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-119 | 2009/11/04 | 2009/12/01 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 福島県 | | | | | ○ | 当該製品にて風呂を焚いたところ、何らかの原因により浴槽の水が抜けたが、空焚き防止装置が作動せず、当該製品を焼損した。 事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | | | 製造から15年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施 |
| A1K09-118 | 2009/11/04 | 2009/12/01 | 石油給湯機 | RPH43KL | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)解散) | 岐阜県 | | | | | ○ | 当該製品から発煙し、当該製品を焼損した。 事故原因は、製品内部の送油ユニット部分について、電磁ポンプパッキンを押さえる板がずれている状態で組み込んだため、そのすき間から油漏れが発生。漏れた油が燃焼筒パッキンに付着、収縮し、熱気が漏れてバーナー付近を焦がしたと考えられる。 | | | 平成20年9月2日からリコール実施 |
| A1K09-117 | 2009/11/04 | 2009/12/01 | 石油給湯機付ふろがま | UKB-3300TXA(F) | (株)コロナ | 山形県 | | | | | ○ | 当該製品にて追い焚き中に異音が生じたため確認すると当該製品が焼損していた。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-116 | 2009/11/06 | 2009/12/01 | 石油給湯機 | OQB-405F | (株)ノーリツ | 宮城県 | | | | | ○ | 当該製品が焼損する火災が発生した。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-114 | 2009/10/26 | 2009/11/11 | 石油ファンヒーター | FH-323DXR | (株)コロナ | 新潟県 | | | | | ○ | 当該製品を点火したところ、当該製品下部から発煙・発火し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 消費者庁の公表では「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-113 | 2009/10/22 | 2009/11/11 | 石油給湯機付ふろがま | KIBF-423DSX | (株)長府製作所 | 奈良県 | | | | | ○ | 当該製品で追い焚き後、異音が生じたため確認すると、排気口から炎が見えた。被害は排気口部煤付着。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-112 | 2009/10/18 | 2009/11/06 | 石油給湯機 | OQB-305Y | (株)ノーリツ | 富山県 | | | | | ○ | 当該製品から異臭が生じたため確認すると、当該製品から発煙・発火していた。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-111 | 2009/10/13 | 2009/11/06 | 石油温風暖房機 (密閉式) | FF-356 | (株)トヨトミ | 北海道 | | | | | ○ | 火災が発生し、現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|--------------|------------|------------|------------------|--------------------------|----------------------------------|--------|------|-----|-----|------|----|---|---|--|---|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | |
| A1K09-110 | 2009/10/19 | 2009/11/04 | 石油給湯機 | RPE40KA | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 石川県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品が焼損していた。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施済み。 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-109 | 2009/10/16 | 2009/11/04 | 石油温風暖房機 (密閉式) | FF-65AM | (株)コロナ | 北海道 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-105 | 2009/09/29 | 2009/10/19 | 石油給湯機 | RPH40KE | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 北海道 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損していた。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施済み。 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-103 | 2009/09/16 | 2009/10/06 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 栃木県 | | | | | ○ | 当該製品にて風呂を焚いたところ、何らかの原因により浴槽の水が抜けたが、空焚き防止装置が作動せず、当該製品を焼損した。 事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | 事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | 株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし | 製造から10年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施 |
| A1K09-102 | 2009/08/18 | 2009/10/01 | 石油給湯機付ふろがま | JIB-2 | (株)長府製作所 | 宮城県 | | | | | ○ | 当該製品で風呂を焚いたところ、当該製品から出火し、製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から25年以上経過した製品 |
| A1K09-101 | 2009/09/03 | 2009/09/14 | 石油給湯機 | RPH32KE (TOTO(株)ブランド) | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 岩手県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品が焼損していた。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施済み 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-100 | 2009/08/29 | 2009/09/14 | 石油給湯機 | RPE32K (TOTO(株)ブランド) | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 栃木県 | | | | | ○ | 当該製品が焼損する火災が発生した。 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施済み製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-098 | 2009/08/20 | 2009/09/07 | 石油ふろがま | CK-11S | (株)長府製作所 | 栃木県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中、異音が生じたので確認すると、当該製品から発煙しており、周辺を焼損した。 | 事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | | 平成19年7月27日からリコール実施 |

尚、このデータは暫定データのもも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|--------------|------------|------------|------------------|---------------|----------------------------------|--------|------|-----|-----|------|----|---|---|--|---------------------------------------|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | |
| A1K09-097 | 2009/08/26 | 2009/09/07 | 石油給湯機 | OQB-405YS | (株)ノーリツ | 岡山県 | | | | | ○ | 当該製品から異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙・発火していた。現在、原因を調査中。 | | | 平成14年10月からリコール実施 |
| A1K09-096 | 2009/08/14 | 2009/09/07 | 石油ふろがま | CK-11S | (株)長府製作所 | 愛媛県 | | | | | ○ | 風呂おけに水を張り当該製品を使用したところ、しばらくして当該製品が出火し、周辺が焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から15年以上経過した製品 |
| A1K09-095 | 2009/08/07 | 2009/09/03 | 石油給湯機付ふろがま | ORM-240Y | (株)ノーリツ | 千葉県 | | | | | ○ | 浴槽に水を張り、追い焚きしたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品下部から炎が見えた。現在、原因を調査中。 | | | 製造から20年以上経過した製品 |
| A1K09-094 | 2009/07/14 | 2009/08/03 | 石油温風暖房機 (密閉式) | FF-65AM2 | (株)コロナ | 北海道 | | | | | ○ | 火災が発生し、現場に当該製品が設置されていた。出火元も含め、現在、原因を調査中。 | | | 製造から15年以上経過した製品 |
| A1K09-093 | 2009/07/11 | 2009/07/24 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-302SAY | (株)ノーリツ | 埼玉県 | | | | | ○ | 当該製品でシャワーを使用していたところ、湯温が高いために当該製品を確認すると、当該製品から発煙・発火していた。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 平成14年10月からリコール実施 |
| A1K09-091 | 2009/07/05 | 2009/07/23 | 石油給湯機 | RPH32KSS | TOTO(株) (製造・東陶ユプロ (株)(解散)) | 千葉県 | | | | | ○ | 当該製品を使用していたところ異音と異臭がし、当該製品が焼損する火災が発生した。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。 | 平成14年10月24日からリコール実施済み |
| A1K09-089 | 2009/06/27 | 2009/07/16 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 長野県 | | | | | ○ | お風呂に水をはらずに、タイマーを操作し、お風呂を沸かしたため、当該製品が焼損した。 | 事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクターを外し忘れたため、空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | 株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし | 平成19年7月28日からリコール実施 製造から15年以上経過した製品 |
| A1K09-087 | 2009/06/25 | 2009/07/08 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-302Y | (株)ノーリツ | 愛媛県 | | | | | ○ | 当該製品を使用したところ、異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙・発火していた。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 平成14年10月からリコール実施 |
| A1K09-086 | 2009/06/14 | 2009/07/03 | 石油給湯機 | UIB-3030CX(F) | (株)コロナ | 北海道 | | | | | ○ | 当該製品で風呂の湯張りをしていたところ、当該製品下部が赤熱し、当該製品を設置していた床面が焼損した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-085 | 2009/05/25 | 2009/06/23 | 石油給湯機付ふろがま | JIB-6NE | (株)長府製作所 | 佐賀県 | | | | | ○ | 当該機器から発火する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から20年以上経過した製品 |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意) 人的被害概要 重症病: 治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病: 治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 | |
|--------------|------------|------------|------------------|----------|-----------------|--------|------|-----|-----|------|----|-------|--|--|--|--|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | | |
| A1K09-081 | 2009/05/18 | 2009/06/04 | 石油ふろがま (薪兼用) | 不明 | (株)長府製作所 | 茨城県 | | | | | | ○ | 当該製品の鉄製の焚き口が赤くなっていたため、消費者は当該製品の電源プラグを抜き、水をかけてから外出した。しばらくして火災が発生し、建物等を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-080 | 2009/05/18 | 2009/06/04 | 石油給湯機 | OQB-405Y | (株)ノーリツ | 徳島県 | | | | | | ○ | 当該製品を使用中に異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙・発火していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損し発煙したものと考えられる。 | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | 平成14年10月24日からリコール実施 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-078 | 2009/05/15 | 2009/05/26 | 石油温風暖房機 (密閉式) | FF-356 | (株)トヨミ | 北海道 | | | | | | ○ | 当該製品を使用していたところ、異音とともに発煙・発火し、周辺が焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | | | 製造から10年以上経過した製品 |
| A1K09-077 | 2009/05/06 | 2009/05/21 | 石油ストーブ | KSR22H | 東芝ホームテクノ (株) | 富山県 | | 1 | | | | ○ | 火災が発生し、1名が重傷を負い、現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-076 | 2009/05/04 | 2009/05/21 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 福岡県 | | | | | | ○ | 浴槽から全ての水が抜けている状態で空焚きをして、機器を焼損した。 | 事故原因は、点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。 | 株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし | 平成19年7月28日からリコール実施 |
| A1K09-075 | 2009/02/28 | 2009/05/18 | 石油ストーブ | RX-221 | (株)コロナ | 岩手県 | | | 1 | | | ○ | 火災が発生し、出火元付近に当該製品があった。消火せずに給油しようとして、給油カートリッジを本体に戻す際に、カートリッジから漏れた灯油に引火した可能性があるが、現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-071 | 2009/04/25 | 2009/05/12 | 石油給湯機 | OQB-405F | (株)ノーリツ | 山形県 | | | | | | ○ | 当該製品から発煙する火災が発生した。事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火したと考えられる。 | | | 平成14年10月24日からリコール実施 |
| A1K09-066 | 2009/04/06 | 2009/05/12 | 石油ふろがま (薪兼用) | 不明 | 長州産業(株) | 大分県 | | | | | | ○ | 風呂の湯を当該製品で沸かしていたところ、当該製品周辺が焼損した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-065 | 2009/04/10 | 2009/04/24 | 油だき温水ボイラ | KB-64NS | (株)富士通ゼネラル | 宮城県 | | | | | | ○ | 異音が生じたので確認すると、当該製品から出火していた。現在、原因を調査中。 | | | |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 | |
|--------------|------------|------------|-----------------|-----------------------|--------------------------------|--------|------|-----|-----|------|-------|---|---|--|----------------------------|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | | | | | 火災 |
| A1K09-062 | 2009/04/04 | 2009/04/16 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-405SAY | (株)ノーリツ | 山形県 | | | | | ○ | 当該製品を使用していたところ、窓の外が赤くなったので確認すると、当該製品から出火していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火したと考えられる。 | 製造事業者である(株)ノーリツは、平成14年10月から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-058 | 2009/03/28 | 2009/04/09 | 石油給湯機付ふろがま | JF-362MDG-A | 長州産業(株) | 福岡県 | | | | | ○ | シャワー使用中に当該製品から発煙した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-056 | 2009/03/20 | 2009/04/07 | 石油ふろがま (薪兼用) | MS-3C | 長州産業(株) | 福岡県 | | | | | ○ | 当該製品に薪を入れて風呂を沸かしていたところ、釜付近が燃えていた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-053 | 2009/03/14 | 2009/03/31 | 石油給湯機 (FE式) | RPH32KE | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)解散) | 山形県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中に外で音がしたため、確認すると機器が焼損していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-046 | 2009/02/21 | 2009/03/12 | 石油ふろがま | CK-11 | (株)長府製作所 | 滋賀県 | | | | | ○ | 空焚きをして、機器と浴槽の一部を焼損した。 | 事故原因は、点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。 | 株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし | リコール品社告(2007/07/27) |
| A1K09-044 | 2009/02/24 | 2009/03/10 | 石油給湯機 | OQB-302Y (HO-350A) | (株)ノーリツ (株)日立ハウステック) | 群馬県 | | | | | ○ | 当該機器より大きな音と共に本体から発火した。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-040 | 2009/02/22 | 2009/03/04 | 石油給湯機 (屋外式) | OQB-305YS | (株)ノーリツ | 岡山県 | | | | | ○ | お湯を使用していたところボンという音がしたため確認すると、当該製品から煙と炎が上がっていた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-036 | 2009/02/12 | 2009/02/25 | 石油給湯機 (屋外式) | RPE32ASSN | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)解散) | 石川県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中にブレーカーが作動したため確認すると、機器が焼損していた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-035 | 2009/02/10 | 2009/02/25 | 石油ファンヒーター | FH-322DXD | (株)コロナ | 奈良県 | | | | | ○ | 当該製品を使用中温風吹き出し口から炎が出た。現在、原因を調査中。 | | | 経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 | |
|--------------|------------|------------|-----------------|-----------|----------------------------------|--------|------|-----|-----|------|----|-------|---|---|---|----------------------------|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | 火災 | | | | | |
| A1K09-034 | 2009/02/04 | 2009/02/25 | 石油ファンヒーター | KD-E309 | 三菱電機(株) | 神奈川県 | 1 | | | | ○ | ○ | 火災が発生し、1名が死亡した。出火元付近に当該製品があった。現在、原因を調査中。 | | | 経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-030 | 2009/02/08 | 2009/02/19 | 石油給湯機 (FE式) | RPH32KE | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 栃木県 | | | | | | ○ | 入浴中にブレーカーが作動し、異音が出たため確認すると、当該製品が焼損していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-029 | 2009/02/08 | 2009/02/19 | 石油給湯機 (屋外式) | RPE40KASS | TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散)) | 石川県 | | | | | | ○ | 当該製品から異音が出たため確認すると、機器が焼損していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-028 | 2009/02/04 | 2009/02/19 | 石油ストーブ (開放式) | SX-D27WY | (株)コロナ | 香川県 | | | | | | ○ | 当該製品を使用していたところ、しばらくして発煙・発火した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-025 | 2009/02/03 | 2009/02/13 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-302Y | (株)ノーリツ | 長野県 | | | | | | ○ | 入浴中に停電したため、確認したところ当該製品から煙が上がっていた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損し発煙したと考えら | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-020 | 2009/01/19 | 2009/02/13 | 石油ストーブ (開放式) | SX-E270WY | (株)コロナ | 和歌山県 | | | 1 | | | ○ | 当該製品を使用中に火災が発生し、周囲を焼損した。消火の際に1名が火傷を負った。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-018 | 2009/01/27 | 2009/02/10 | 石油ストーブ (開放式) | KSA-105G | (株)トヨミ | 鹿児島県 | | | 7 | | | ○ | 当該機器がある室内に入ると、煙が充満していたため換気をしていたら、7名が体調不良となった。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-017 | 2009/01/25 | 2009/02/10 | 石油給湯機 | CBX-400 | 長府工産(株) | 京都府 | | | | | | ○ | 当該機器のリモコンスイッチを押したとき、ブレーカーが落ちた。確認すると、当該機器から発煙し、ポイラー部分が赤かったため、消火した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-014 | 2009/01/19 | 2009/02/03 | 石油給湯機 | OQB-405F | (株)ノーリツ | 静岡県 | | | | | | ○ | 当該機器を設置している小屋から大きな音が出たので確認すると、小屋内に煙が充満して、当該機器が焼損していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | リコール品社告(2002/10/24) |

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 | |
|--------------|------------|------------|-----------------|-------------|----------|--------|------|-----|-----|------|-------|---|--|--|----------------------------|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | Co中毒 | | | | | 火災 |
| A1K09-013 | 2009/01/16 | 2009/02/03 | 石油給湯機付ふろがま | JIB-2 | (株)長府製作所 | 神奈川県 | | | | | ○ | 追い焚きをするためにタイムスイッチを設定し、風呂の運転を開始後しばらくして、ボイラー室へ行くと機器内部が焼損していた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-012 | 2009/01/08 | 2009/02/03 | 石油給湯機付ふろがま | BSF-4500(F) | (株)トヨミ | 北海道 | | | | | ○ | 家のプレーカーが落ちたので確認すると、当該機器の前方下部と横から炎が出て、消火した。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-011 | 2009/01/15 | 2009/02/02 | 石油ふろがま (新兼用) | CH2缶、SB-71H | (株)長府製作所 | 京都府 | | | | | ○ | 風呂を沸かすためタイマーをセットしたが沸いていなかったため、再度タイマースイッチを入れたところ、ふろがまの外部に炎が出ていた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-009 | 2009/01/14 | 2009/02/02 | 石油ファンヒーター | OK-A30C | シャープ(株) | 和歌山県 | | | | | ○ | 運転中に当該機器から焦げ臭いにおいが出たため、コンセントを抜いて屋外に持ち出したところ、発火した。現在、原因を調査中。 | | | 経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載 |
| A1K09-006 | 2009/01/05 | 2009/01/27 | 石油給湯機付ふろがま | OTQ-302SAY | (株)ノーリツ | 福島県 | | | | | ○ | 当該機器を使用中に屋外で異音が生じ、確認すると、発煙していた。 | 事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | リコール品社告(2002/10/24) |
| A1K09-004 | 2009/01/08 | 2009/01/21 | 石油給湯機付ふろがま | KIBF-422DSA | (株)長府製作所 | 岩手県 | | | | | ○ | リモコンで湯張り運転しようとしたが着火せず、リモコンに警報が表示されたので、当該機器を確認すると機器内部が焼損していた。現在、原因を調査中。 | | | |
| A1K09-002 | 2009/01/01 | 2009/01/21 | 石油給湯機 | PDX-403D | 長州産業(株) | 熊本県 | | | | | ○ | 入浴中にお湯を使用したところ、外で爆発音がし、ボイラから火が出た。 | 事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。 | 製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。 | リコール品社告(2005/01/24) |

注:
 ・001, 003, 015, 024...B1へ移行(09/08/12)
 ・026...B1へ移行(09/12/25)
 ・063...B1へ移行(10/01/28)
 ・057, 079...B1へ移行(10/02/02)
 ・037, 039, 045, 051, 055...B1へ移行(10/02/15)
 ・005, 007, 010, 031, 033, 050, 069...B1へ移行(10/03/16)
 ・019...B1へ移行(10/03/17)
 ・016, 021, 043, 047, 049, 067, 070, 072, 073, 083, 088, 092...B1へ移行(10/06/18)
 ・059...2008年の事故だったので2008年の表へ移行(10/07/02)
 ・158...129と同じ事故であることが判明したため削除。(10/09/03)
 ・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10/11/05)
 ・008, 023, 027, 032, 038, 052, 061, 064, 074, 082, 129...B1へ移行(10/11/05)
 ・104, 108, 133, 143, 149, 155...第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/04/13)
 ・022, 048, 159, 121, 167, 168, 164...第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/04/16)。
 ・106, 124, 146, 147...第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/04/18)。
 ・041, 042, 054, 099, 130, 162...第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/04/27)。

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

| JGKA 管理番号 | 事故発生日 | 公表日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業社名 | 事故発生場所 | 被害概要 | | | | 事故の内容 | 事故の原因 | 再発防止策 | 備考 |
|---|-------|-----|-----|-------|------|--------|------|-----|-----|------|-------|-------|-------|----|
| | | | | | | | 死亡 | 重傷病 | 軽傷病 | C=中毒 | | | | |
| ・068, 160…第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/05/08)。 ・060, 107, 134, 136, 140, 137, 151, 156, 169, 170, 171…第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/05/08)。 ・115, 145…第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/05/09)。 ・084, 090, 141, 166, 172, 173…第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(12/05/10)。 ・142… 第三者委員会の判定に基づきB1等へ移動(13/03/18) | | | | | | | | | | | | | | |